

「考える」＝「楽しい」＜4月16日（月）朝礼講話（校長）＞

朝礼の子どもたちへのお話で、算数の問題を出しました。

数字を緑色と青色のグループに分けます。

【緑色のグループ】3、5、7 【青色のグループ】4、6

ここで、「8」はどちらのグループか質問しました。答えは、青色のグループです。

【緑色のグループ】3、5、7 【青色のグループ】4、6、8

次に、「9」はどちらのグループか質問しました。答えは、青色のグループです。

【緑色のグループ】3、5、7 【青色のグループ】4、6、8、9

偶数・奇数と考えていた子どもたちは、混乱します。

さらに、「2」はどちらのグループか質問します。答えは、緑色のグループです。

【緑色のグループ】3、5、7、2 【青色のグループ】4、6、8、9

偶数・奇数の考え方が通用せず、ますます混乱します。

ここで、問題です。緑色はどんな数の仲間ですか。青色はどんな数の仲間ですか。

この問題は、子どもたちの予想が後半で裏切られます。何を基準に仲間分けをしているのか分からなくなります。普段の学習では、「分からない」＝「苦しい」となることが多いようですが、問題の答えが分かるとわくわく感がなくなるこことありませんか。実は、分からないからこそ楽しいのです。では、なぜ、分からないと楽しいのでしょうか。それは、「考える」からです。だから、「考える」＝「楽しい」と言えます。考えるときに大切な事が2つあります。ひとつは、自分で考えることです。自分で考えなければ、理解が深まりません。もうひとつは、みんな考えることです。みんな考えなければ、理解が広がりません。学校の授業では、自分で考える時間とみんな考える時間を確保し、子どもたちの学びの支援をしています。ご家庭でも「今日はどんなこと勉強した？」と聞いてあげてください。

自慢のクラスにするために頑張ります＜4月16日（月）学級委員任命＞

1学期の学級委員を任命しました。どのクラスの学級委員もやる気満々です。学級委員の仕事は、列の先頭に立って号令をかけるだけではありません。クラスの「みんなで」何かをするときのまとめ役、牽引役として頑張ってもらいたいと思います。今後の活躍が楽しみです。

【2年学級委員】	**	**	**	**
【3年学級委員】	**	**	**	**
【4年学級委員】	**	**	**	**
【5年学級委員】	**	**	**	**
【6年学級委員】	**	**	**	**

※1年生は、学級委員の任命がありません。

